先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社

第92期中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。また、東日本大震災により被災されました皆様におかれましては、一日も早い復興を心からお祈り申しあげます。

ここに、第92期の前半（2011年4月1日から2011年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

今般の震災で株主の皆様に大変なご心配をおかけすることになりました当社いわき工場の状況につきましては、おかげをもちまして被災した生産設備等が全て復旧し、8月より完全稼働いたしました。今後とも、震災による様々な影響につき管理を徹底し、監視に努めてまいります。

一方、国内医薬品市場に眼を移しますと、医療費・薬剤費抑制策の基調が継続し、前期に引き続き厳しい状況で推移しています。当社はこのような情勢に対処するため、2010年4月から2013年3月末までの中期経営計画「ASKA PLAN 2012」を策定し、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い競争力のある新薬開発型企業を目指しております。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2011年11月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・ 3
中間連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・ 4
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式に関するお知らせ・・・・・・・・・・・・・10
株主メモ

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復基調にあり、復旧需要の増加などにより設備投資等に持ち直しの動きが見られたものの、雇用・所得環境、個人消費等引き続き厳しい状況で推移し、欧州の金融不安や為替円高等先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、高齢化の進展により医療保険財政が圧迫されるなか、後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の社会的要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、生産面においては、震災によりいわき工場の製造設備の一部および立体倉庫が損傷し、製品供給に一部支障を来しましたが、全社一丸となって復旧に取り組み、安定供給体制を確保し、8月から完全稼働いたしました。今後、さらに生産および物流の整備を行い、安定的な供給体制の確立に向けて努力してまいります。一方販売面では、中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動に努めましたが、震災により営業活動が制限を受けたこともあり、売上高は199億9千万円（前年同期比8.4%減）となりました。

医療用医薬品分野では、本年5月に新製品として緊急避妊剤「ノルレボ」、7月には後発医療用医薬品の脳保護剤「エダラボン」を上市いたしましたが、震災後の既発売品の競争激化の影響により、売上高は181億1千3百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

動物用医薬品分野では、昨年4月に承継した畜水産事業の統合をさらに推進し、相乗効果の発揮に努めました結果、売上高は17億5千1百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億2千6百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

利益面では、売上原価率の低減、人件費および研究開発費等経費の減少はありましたが、売上高減少の影響により、営業利益4億3千万円（前年同期比28.3%減）、経常利益5億5千5百万円（前年同期比18.4%減）とそれぞれ減益となりました。また、特別損失として1億1千3百万円（投資有価証券評価損7千2百万円、震災によるたな卸資産の損失等4千万円）計上したことにより、中間純利益8千4百万円（前年同期は特別損失19億5千5百万円の計上による9億4千4百万円の中間純損失）となりました。

研究開発面におきましては、本年5月にラボラトワール・エイチアールエー・ファルマ（本社：フランス）と経口黄体ホルモン受容体調節剤「ウリプリスタール酢酸エステル」の日本における開発権および販売権に関するライセンス契約を締結いたしました。また同月には新製品として日本初の緊急避妊剤「ノルレボ錠0.75㎎」を上市いたしました。さらに9月には高脂血症治療剤「リピディル錠53.3㎎、錠80㎎」が薬価収載され、本年12月19日に発売を予定しております。

当中間連結会計期間における設備投資額は2億5千3百万円で、その主なものは、生産設備などであり、全額自己資金で賄っております。

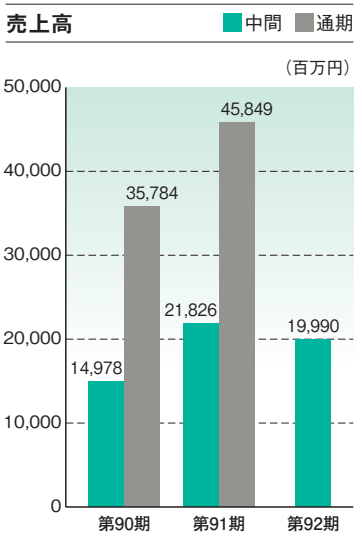
今後の医薬品業界は、引き続き厳しい環境が予測されます。

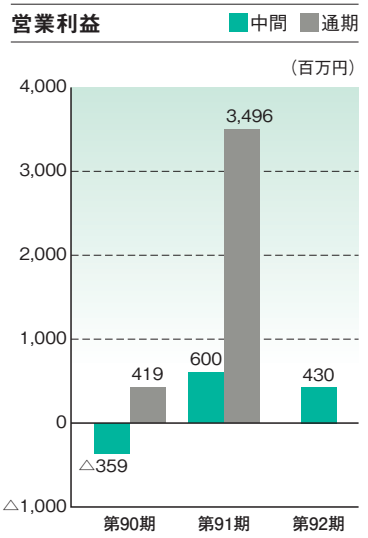
当社は企業価値の最大化を図るため、今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

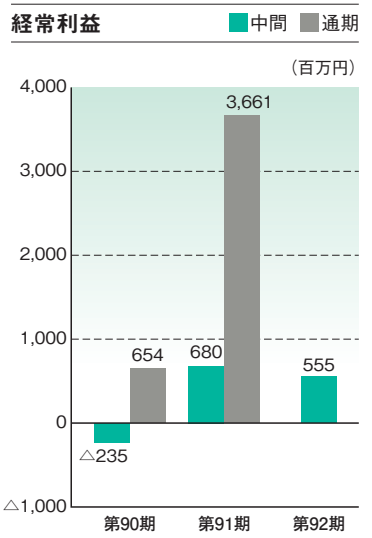
また、株主の皆様はもとより、広くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

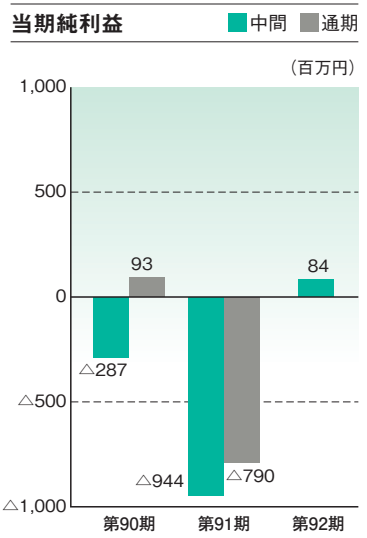
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

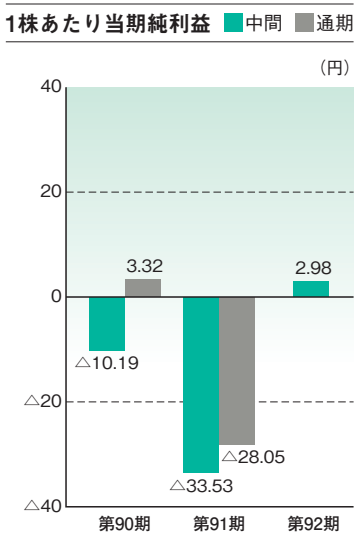
財務ハイライト（連結）

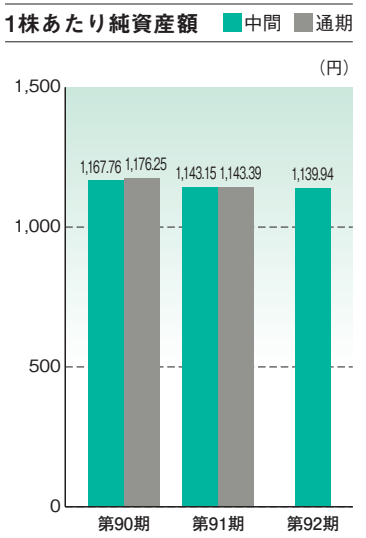












（注）当中間期末の自己資本比率は63.5%です。

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2011年3月31日現在	当中間期末 2011年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**31,526**	**25,097**
現金及び預金	5,195	4,988
受取手形及び売掛金	9,296	6,221
有価証券	7,188	1,974
その他	9,845	11,913
固定資産	**26,005**	**25,429**
有形固定資産	**13,390**	**12,801**
無形固定資産	**2,643**	**2,454**
投資その他の資産	**9,971**	**10,174**
投資有価証券	4,473	4,414
その他	5,497	5,759
繰延資産	**63**	**55**
資産合計	**57,595**	**50,582**
負債の部		
流動負債	**16,736**	**10,353**
固定負債	**8,656**	**8,125**
負債合計	**25,392**	**18,479**
純資産の部		
株主資本	**32,394**	**32,280**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32,660	32,547
自己株式	△ 2,308	△ 2,309
その他の包括利益累計額	**△ 191**	**△ 176**
その他有価証券評価差額金	△ 185	△ 176
繰延ヘッジ損益	△ 6	–
純資産合計	**32,202**	**32,103**
負債純資産合計	**57,595**	**50,582**

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	当中間期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで
売上高	**21,826**	**19,990**
売上原価	12,304	11,026
売上総利益	**9,521**	**8,964**
返品調整引当金繰入額	1	△ 1
差引売上総利益	**9,519**	**8,966**
販売費及び一般管理費	8,919	8,535
営業利益	**600**	**430**
営業外収益	189	209
営業外費用	109	85
経常利益	**680**	**555**
特別損失	1,955	113
税金等調整前中間純利益	**△ 1,275**	**441**
法人税等	△ 286	357
少数株主損益調整前中間純利益	**△ 988**	**84**
少数株主利益	△ 44	–
中間純利益	**△ 944**	**84**

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	当中間期 2011年4月 1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**2,070**	**△ 202**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,398**	**△ 406**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,138**	**△ 4,407**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**△ 0**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 465**	**△ 5,017**
現金及び現金同等物の期首残高	**9,434**	**11,090**
現金及び現金同等物の中間期末残高	**8,969**	**6,073**

◆ プロスタール発売30周年記念講演会開催

当社の泌尿器科領域の主力製品であるプロスタールが発売30周年を迎え、これを機に記念講演会を開催しました。全国規模での講演会は発売以来初の試みでしたが、ご出席いただいた先生方からの反響も大きく、当社と泌尿器科の先生方との関係を再構築することができました。今後も、泌尿器科領域の更なる販売強化と医療への貢献を図ってまいります。

【プロスタール発売30周年記念講演会　概要】

開催日：2011年9月10日（土）
場　所：東京プリンスホテル
講演内容
特別講演Ⅰ：『酢酸クロルマジノンによるBPH治療』
　座長：東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 赤座英之 先生
　演者：奈良県立医科大学 泌尿器科 准教授 藤本清秀 先生
特別講演Ⅱ：『アンドロゲンと前立腺』
　座長：金沢大学医学部 泌尿器科 教授 並木幹夫 先生
　演者：帝京大学医学部 泌尿器科 教授 堀江重郎 先生



◆「ウリプリスタール酢酸エステル」に関するライセンス契約を締結



2011年5月19日、当社とLaboratoire HRA Pharma（フランス）は、経口黄体ホルモン受容体調節剤である「ウリプリスタール酢酸エステル（Ulipristal acetate）」の日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結いたしました。本契約によって、当社は本剤の日本における子宮筋腫・緊急避妊の適応を含む婦人科疾患におけるサブライセンス権付き独占的開発、販売および製造権を獲得します。

本剤は、既に緊急避妊の適応で、欧州（英国、仏国、独国を含む主要26ヶ国）においては2009年より「ellaOne」の販売名で、また、米国においては2010年より「ella」の販売名で発売されております。さらに子宮筋腫の適応については、欧州にて実施された第Ⅲ相臨床試験において高い有効性と安全性が確認されています。

当社は、産婦人科領域のスペシャリティー・ファーマとして関連製品のラインナップの充実に努めております。本剤の発売により、女性の健やかな明日のためにより一層の貢献をしていきたいと考えております。

◆ 高脂血症治療剤「リピディル錠53.3㎎、錠80㎎」薬価基準収載

2011年9月22日、高脂血症治療剤「リピディル錠53.3㎎、錠80㎎」（一般名：フェノフィブラート）が薬価基準に収載されました。本剤は、新たな製剤技術を用いて、カプセルから錠剤に剤形を変更したものです。発売は12月19日を予定しております。

【リピディル錠の特徴】

①フェノフィブラートを固体分散体化し、溶出性を向上させることにより吸収性を高めることに成功しました。
②本技術によりフェノフィブラートの用量が低減された小型の錠剤とすることができ、服薬コンプライアンスの向上が期待できます。

【フェノフィブラートについて】

フェノフィブラートは、総合的に脂質代謝を改善するフィブラート系薬剤であり、強力な中性脂肪（トリグリセライド）の低下作用、HDLコレステロールの上昇作用とともに、総コレステロール、LDLコレステロールの低下作用も併せ持っています。

なお、フェノフィブラート製剤のエビデンスとして、2型糖尿病患者を対象とした臨床試験であるDAIS（2001年発表）、FIELD（2005年発表）、ACCORD（2010年発表）において心血管疾患への有効性と安全性が認められています。

◆ 緊急避妊法適正使用セミナーの開催



緊急避妊剤「ノルレボ錠0.75㎎」が2011年5月24日に新発売となり、同剤の適正使用の浸透を目的に、社団法人日本家族計画協会との共催で「緊急避妊法適正使用セミナー」を発売直後の5月29日の東京会場を皮切りに、全国8会場で開催しました。

各会場とも、定員をはるかに上回る多くの医師、医療関係者の方々の参加となり、ノルレボ錠の社会的関心の高さと緊急避妊剤の情報普及活動の必要性を感じるものとなりました。

今後も日頃の情報提供活動はもとより、このようなセミナーの開催などを通じ、ノルレボ錠の適正使用情報の提供と、計画的な避妊法としての低用量ピルの使用推進活動をしてまいります。さらに、一般女性に対する啓発活動も行い、女性のQOLのサポートに努めてまいります。

◆ 新製品発売

脳保護剤（フリーラジカルスカベンジャー）
エダラボン点滴静注バッグ30㎎「AA」
2011年7月29日新発売



◆ 製品供給体制の完全復旧のお知らせ

東日本大震災で被災されました皆様には心からお見舞いを申しあげます。

今般の震災により、被災した当社いわき工場の第一、第二製剤棟および第三製剤棟は、完全に復旧いたしました。これに伴い、当社の内用薬93品目、注射薬30品目および外用薬10品目の全製品の生産・供給体制が8月より完全稼働しております。

医療関係者の皆様をはじめ、患者様ならびにご家族の皆様には、当社製品の供給にご心配をおかけいたしましたことを心からお詫び申しあげますとともに、本日に至るまで格別のご理解とご協力を賜り、心から御礼申しあげます。

今後も安定的な生産および供給体制の確立に向けて鋭意努力してまいりますので、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

◆ 福島県いわき工場の放射線の影響に関するお知らせ

当社製品は、主に福島県のいわき工場で生産されていますが、福島第一原子力発電所被災による放射線の当社製品への影響につきまして、当社の対応および見解をお知らせいたします。

●いわき工場における医薬品製造について

政府は「医薬品は安全であり問題ない」、日本製薬団体連合会も「医薬品は健康への影響は極めて少ない」との見解を述べています。

このことからも、当社製品は安全性に問題はないと考えておりますが、品質および安全管理に万全を期すため、次に記載する独自の管理を行っております。

1. 放射線量の測定管理
   （1）出荷製品の測定
   （2）環境検査の実施
2. 使用水および製造用水の管理
   （1）空調・機器の洗浄等の使用水：放射性物質はすべて不検出
   （2）医薬品の製造用水：いわき市の水道水を精製した水を使用、安全上全く問題なし

当社は、従来、品質および安全管理に万全を期すよう努めており、放射線量につきましては、今後も引き続き管理を徹底し、監視してまいりますので、何卒ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

●医療用医薬品



高脂血症治療剤
リピディルカプセル67・100



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠25・50・100



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍·胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5・75



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症·狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

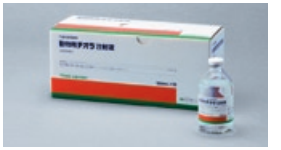
●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬前立腺肥大症治療剤
ウロエース錠



代謝改善解毒剤
動物用チオラ注射液



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

会社概要（2011年9月30日 現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	838名 （子会社への出向者42名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	医薬品原材料等の販売業務 臨床検査業務、 健康食品の販売業務 清掃・警備等の受託業務、 保険代理店
あすかActavis製薬㈱	200	55	医薬品の開発、製造、販売および輸出入

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役専務取締役	山口　雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役	大竹　充
	取締役常務執行役員	堀内　敏
	取締役常務執行役員	内藤　朗
	取締役常務執行役員	横山　義廣
	取締役常務執行役員	丸尾　篤嗣
	取締役	上田　栄治
	取締役	吉村　恭典
	常勤監査役	鈴木　肇
	常勤監査役	小泉　直之
	監査役	武田　裕二
	監査役	増田　由明
執行役員	常務執行役員 （生産本部長）	角張　信隆
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢　誠司
	執行役員 （西東京事業所長兼創薬研究センター長）	青塚　知士
	執行役員 （特命事項担当）	秋山　明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上　誠
	執行役員 （信頼性保証担当）	川原　真幸

株式の概況（2011年9月30日 現在）

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,884名

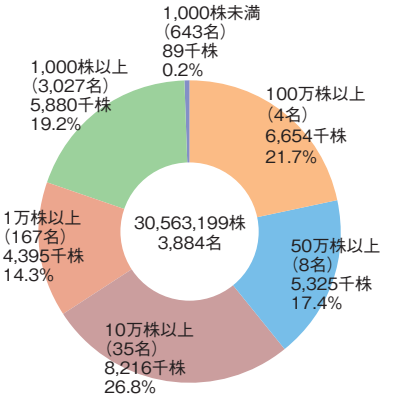
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,184	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,163	4.0
山口　隆	914	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	900	3.1
長瀬産業株式会社	850	2.9
日本生命保険相互会社	579	2.0
あすか製薬従業員持株会	551	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7
ビービーエイチ　ボストン　ハートランド バリュー　ファンド　インク　620018	500	1.7

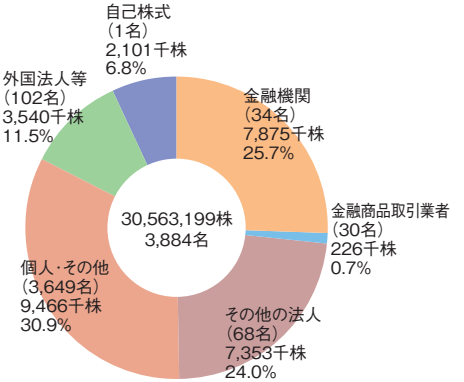
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数第2位以下を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（2,101,648株）を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別

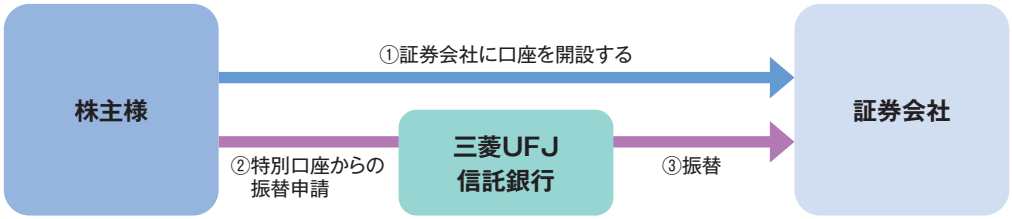


◆ 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

「特別口座※」に記録されている株式は、「特別口座」に預けられたままでは、株式売買に制約があります。さまざまなお手続きを円滑に行うためにも、証券会社の口座への振替申請をお勧めします。お手続きの詳細は、裏表紙記載のお問い合わせ先にご確認ください。

※特別口座　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に株券を預託していなかった株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

〔口座振替申請の方法〕

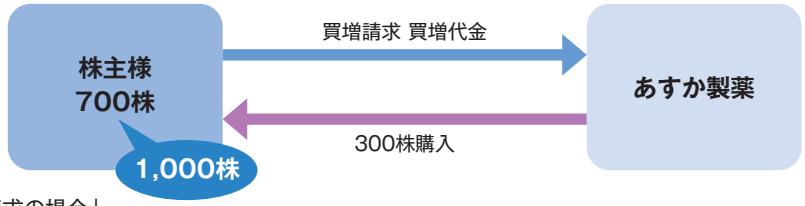


◆ 単元未満株式の買増・買取請求について

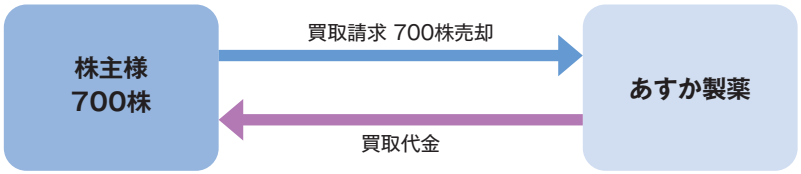
当社の株式は、1単元が1,000株となっております。株主様がご所有の単元未満株式（1～999株）につきましては、市場で売買ができない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。単元未満株式は、当社に対して1,000株（1単元）となるよう不足する株式を買い増しすることが可能な買増請求、または、時価で売却することが可能な買取請求をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏表紙記載のお問い合わせ先にお申し出ください。

【例】株主様が700株ご所有の場合

「買増請求の場合」



「買取請求の場合」



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載紙	日本経済新聞

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.　0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514

いいかぶ　検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

あすか製薬株式会社

本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C013080
VEGETABLE OIL INK